

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市宝持三丁目 計画	階数	地上7F
建設地	大阪府東大阪市宝持三丁目12番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	144 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年12月14日
敷地面積	1,666 m ²	作成者	村中建設(株)藤井
建築面積	583 m ²	確認日	2018年12月14日
延床面積	3,503 m ²	確認者	藤井 担



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.6</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.3</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 2.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 1.6</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 2.9</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>可能な限り空地を確保し、近隣に圧迫感を与えない様にした。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>F★★★★建材を使用し、室内環境を向上させた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>各寮室に電話端子、TV端子設置</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑地に高木を配置し潤いのある景観づくりをした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱等性能等級4適合。建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない建材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂の排出量の抑制に努めた。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0130

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)東大阪市宝持三丁目 計画						
	建設地	東大阪市宝持三丁目12番1						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		